

芭蕉は生涯にわたり四度、美濃国を訪れ
発句を三十五句ほど詠みました。

芭蕉生誕地のある伊賀国や、「蕉風発祥の地」名古屋のある
尾張国と比べると、決して数は多くありません。

しかし、江戸以外で早くから芭蕉の俳風に親しむ俳人が
多く現れたのは、美濃、とりわけ大垣と岐阜です。

大垣は、大垣藩の城下町・美濃路の宿場町・揖斐川水系の
湊町として栄えました。

芭蕉は木因ぼくいんの招きに応じ、『野ざらし紀行』の旅で
初めて大垣を訪れました。

その際、旅の緊張感から解放された気持ちを句で表しています。

『奥の細道』の旅では、大垣で如行じょこうや荊口けいこうらに出迎えられ

長旅の疲れを癒し、旅を締めくくりました。

岐阜は、長良川の物資輸送の中継基地として商人の交易で栄えました。

『笈の小文』の旅を終えた芭蕉は、落梧らくくとの招きを受けて

一か月ほど滞在しました。

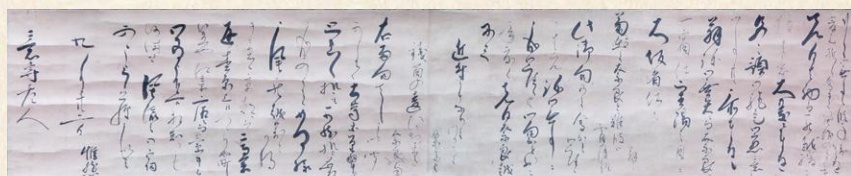
この間、落梧らくくとや己百おのひゃくといった岐阜の俳人たちと

鶉飼見物を始め岐阜の風物を楽しみました。

第三十四回企画展では、芭蕉の真筆やゆかりの作品を通して

芭蕉と美濃の蕉門俳人との交遊について紹介します。

ふるさと美濃を彩る俳人と芭蕉との交流に思いを馳せてみませんか。



元禄7年9月22日付意専(猿躰)宛性然書簡(個人蔵)

展示品

- ・貞享2年3月26日付木因宛芭蕉書簡(柿衛文庫蔵)
- ・芭蕉筆「山かげや」発句・脇懐紙(岐阜県美術館蔵)
- ・落梧発句等書留(個人蔵 岐阜市歴史博物館寄託)
- ・元禄2年9月22日付杉風(推定)宛芭蕉書簡(個人蔵)
- ・元禄6年4月29日付荊口宛芭蕉書簡(個人蔵)
- ・元禄7年9月22日付意専(猿躰)宛性然書簡(個人蔵)
- ・「藤渠漫筆」(個人蔵 岐阜県歴史資料館寄託)
- ・「蕉門人物便覧」草稿(刈谷市歴史博物館蔵) ほか

企画展関連講座

日 程	11月6日(日) 14:00~15:30
テ マ	象潟の風雅 芭蕉と美濃の商人低耳
講 師	瀬川 照子 氏 (元柿衛文庫学芸員)
場 所	大垣市奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1 (岐阜県大垣市船町2-26-1)
定員・受講料	70名 無料
申込み方法 問い合わせ先	申込用紙に必要事項を記入して、文化振興課へ郵送・持参・FAXまたは 奥の細道むすびの地記念館ホームページ(http://www.basho-ogaki.jp/)より 〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2-29 大垣市教育委員会 文化振興課 TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-81-0715

記念館HP



※詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページ等でお知らせします。

奥の細道むすびの地記念館 企画展関連講座

象潟きさかたの風雅 芭蕉と美濃の商人低耳ていじ

参加申込用紙

ふりがな

名 前

住 所

電話・FAX番号

-

電話

FAX


FAX
0584-81-0715

【注意事項】 ・申込書の個人情報は、適切に管理し、本事業以外の目的には一切使用しません。 ・申込受付の確認については連絡しません。当日、会場にお越しく下さい。
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止や変更となる場合があります。 ・会場整理のため、欠席の場合、できるだけ前日までにご連絡ください。